

カエル みつけた!!



本当だ!!
いた!!



少しづつ園生活に慣れてきた4月中旬。タコグミ探しで葉っぱや
フウリンターなどの下も探していると、なんとみどりのお家の下の下に
小さいカエルを見つけました! 最初に見つけた女の子は、すぐに
カエル好きのお友だちへ声を掛けに行き、つかまえることに成功!

ここにいたの??

どうぞう!!



お水が
必要じゃない?

お水も触わりたーい!!



触れるよ!!

30に30にして柔らかい!!

みんなでバケツに入れてあげ、じっくり観察する
ことにしました!!

カエルがいることがわかると、バケツの周りにはすぐに
子どもたちが集まってきて、興味津々の様子で角触り
り、観察したり、「お水が必要じゃない?」と
水を運んでくれたりと、それぞれ楽しむ姿が

見られました。

カエルの発見・観察で育つ
10の姿



2022/04/1

乗せたら歩くよー!!

お腹は
白い
だね!!



2022/04/19

健康な心と体・自立心・協同小生
道徳性・規範意識の芽生え・思考力の芽生え
自然との関わり・生命尊重・言葉による伝え合い・豊かな感性と表現



2022/04/19

2人の姿から...
10の姿

「協同性・社会生活との関わり
思考力の芽生え・言葉による伝え合い
豊かな感性と表現

!! これが「あ?」!!



2022/04/19

!! 色は茶色だったよ!!
黒い模様もあつたね!!

この日はお家に帰ってあげよう!! ...と、みゆりの
お家の下に戻してあげた子どもたち。
クラスに戻ると、何のワイルド? のかが長に
たり、さくら、せんくんの2人は図鑑で種類を
探してしまつた模様。模様によって種類が違ふことを
知り、「こっちワイルド?」「こっちじゃない?」と言はして
いたので、撮つた写真で見せることにしまつた。
模様はワイルドによって違ふものの

← これが一番似ている!!
...と2人の意見が



あずまひきがえる

2人の分析では
「あずまひきがえる」
ではないかと判りました。

かえるとの出会いを通して...

園生活の中では様々な虫や生き物に角触れる機会がありますが、ワイルドに出会えるのは珍しく、子どもたちも大喜びでワイルド図鑑で見知っているだけではなく、実際に見て触れ、感触や重さ、どんな姿なのか...など感じていることを友達と伝え合い、子ども同士で共感し合う姿が見られました。本物に角触れたことで、愛着を持ち、自然や生き物を大切にすることを感じていました。

又、小さなワイルド1匹を大勢で見るといことで初めはどの子も「角触りたい!」「見せて〜!」とどんどん子どもたちが集まってきました。その中で、「ワイルドは優しく触るんだよ!」という声も挙がりました。優しく扱う為には必然的に「順番」を待つ必要はないと、子ども達はどうするのか様子を見守っていました。すると、3学年の子どもたちがその場にいることもあり、「順番で見ようよ!」と伝え合い、自然と待つ姿が見られました。

事前に保育者が「約束」や「順番」を伝えて声掛けすることはすぐに出来ますが、「優しく触らなくてはいけない」「1匹しかいない...」というところから必要な場面になると子ども達の中で考え伝え合い待つことが出来るようになると思います。

これからも様々なモノ、人、事との出会いの中で子ども達が感じていることをしっかりキャッチしながら保育していきたいと思っています。